

スリランカ 外食事情

前回の弁当編に引き続き、今回はスリランカの外食事情についてご紹介させていただきます。

先ずは一般的なランチからです。コロンボなどの大都市以外だとほとんどローカルな食堂しかありません。コロンボから出た場合、地元の方から見てちょっと高級な



写真-1
コスランダのレストラン



写真-2
はすの葉っぱカレー



写真-3
レストランのパン



写真-4
フードコート
チキンモンゴリアン



写真-5 築地魚一メニュー

ところで食べることが多いのですが、それでもRs300ぐらいで十分そこそこのものが食べられます(100円≒Rs130*)。(写真-1)(写真-2)は、現地調査に行った時に食べたランチです。当然カレー。どこに行っても特に「チキン」カレーは辛い!というの定番です(私以外の人も同意見でした)。スリランカにお越しの際は気を付けてください。なお(写真-3)はレストランで出しているパンです。スリランカの人たちは結構パンも食べるようです。紅茶が付いてもRs150ぐらいです。

次は、コロンボのショッピングセンターなどのフードコート。念のためですが、コロンボはスリランカの首都ではありません。首都は、スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテです(この区切りが正式な読み方です)。大きいショッピングセンター街にはフードコートがあり、大手のピザ屋さんをはじめいろいろなお店が入っています。スリランカカレーのお店もありますが、タイ・モンゴルなど外国の名前が付いたところもあります。良く食

べるのはこれ(写真-4)。いくつかのフードコートに行くと、いろいろなお店の料理を食べましたが、ほとんどが辛いものでした。本来はそんなに辛いものも…。スリランカンナイズ?されているのかと思います。

次は、日本食です。最近は日本食レストランも多くなったとのこと。「日本橋」、「サクラ」というレストランは着任前から有りましたが、「築地魚一」、「憩い亭」という店がここ1年くらいで出来ました。全部で10軒は無いと思いますが、数年前に在留日本人が1,000人を超えたようで、そのあたりから日本食レストランが増えてきたとのこと。(写真-5)値段にもよりますが、日本食的なものは食べられます。但し、ラーメンは食べられないと思ってください(ラーメンのようなものはあります)。(写真-6)は某日本食レストランの焼きそばです。どうやら乾麺のそばが麺のようです。これには驚きました…(焼き「そば」という意味では嘘ではない?)。因みに場所は秘密で今は無くなってしまいましたが、ほぼ日本食と言っているようなものを食べられるところもありました(写真-7)。日本大使館ではありません。



写真-6
某レストランの焼きそば



写真-7
某所の日本食

最後にケンタッキー(スリランカでは「KFC:ケイエフシー」と呼びます)です。マックもバーガーキングもありません。大体は普通のメニューですが、スリランカのケンタッキーには、「チキンプリヤーニ」というメニューがあります(写真-8)(写真-9)。最初このメニューを見た時は驚きました。なんでケンタッキーにご飯ものが…。当たり前ですが、スリランカンナイズされていません(日本でもそうだと思います)。ちょっと辛い調味料が付いており、これを付けると結構おいしいです。辛いのが苦手な私でも。私もスリランカンナイズされたのでしょうか?



写真-8
チキンプリヤーニ



写真-9 KFCメニュー

*Rsはスリランカルピー (判田乾一・JICA専門家)